

令和7年度 土木の魅力発信の取り組み（宮崎県）

● 県内11地区の小学校でイベントを開催



【出前講座】



【区画線施工体験】



【橋の模型作り体験】



【造園体験】

【重機体験】



【測量体験】



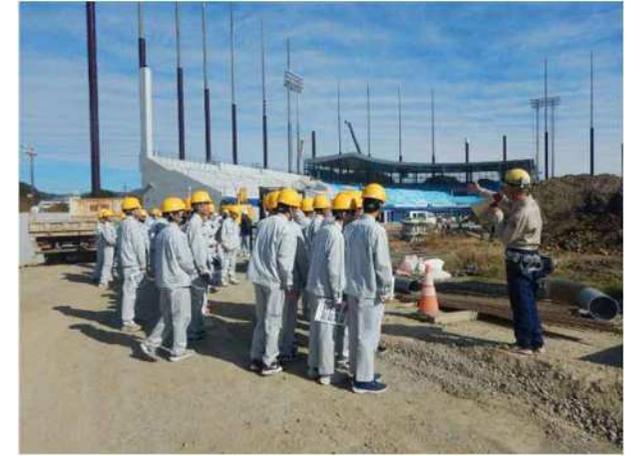
【コンクリート体験】



令和7年度 土木の魅力発信の取り組み（宮崎県）

● 高校生を対象に現場見学会を開催

- ・ 県道安賀多通線工事現場見学
- ・ 天下防災ステーション見学
- ・ 西階公園野球場整備事業見学



建設業の魅力発信に向けた取組

- 作業体験や模型実験を取り入れた“ふれあい型”の現場見学及び出前講座を開催
- 建設工事やインフラ施設をテーマにしたフォトコンテスト及びパネル展を開催
- 県内高校生等を対象とした合同企業説明会や就職応援キャラバンを開催
- 国、建設業協会等と連携し、一般県民向けに「土木フェスタ」イベントを実施
- 建設産業のPR動画をSNS等で配信



建設業の魅力発信ポスター

女性技術者交流会 in 県立美里工業高等学校



日時： 令和7年12月15日（月）13：00～15：40

場所： 沖縄県立美里工業高等学校

参加者： 高校生(11人)
民間(teamけんせつ美ら小町) 8名・県女性技術者(2名)

内容： 将来を担う女性技術者の確保に向け、建築科を専攻する女子高校生と民間・県等の建設業に従事する女性技術者が集まり、建設業の現状や魅力に関する意見交換会を開催



令和7年度 建設業の魅力発信の取組み

建設技術系職員等による小中学校出前講座

内容：将来の担い手確保のため、特に離島の小学校高学年から中学生向けに、建設業への興味や理解を深めるための出前講座を開催。

与那国町立久部良中学校

講義の様子



クイズ出題



粟国村立粟国小学校

耐震実験 (クラフト作成)



県内の建設現場を見学し、
土木・建築の技術や工法などの説明を聞きながら、
沖縄の建設業について親子で学びます。



対象：小学生（4年生以上）～中学生とその保護者
 実施日時：令和7年9月15日（月）10:00～16:00
 実施場所：南風原バイパス（南風原町宮平）、幸地インター線（西原町幸地）
 募集人数：10組（20名）程度
 集合場所：沖縄しまたて協会（浦添市勢理客4-18-1 トヨタビル）
 参加費：無料（昼食・飲み物付き）
 参加申込方法：Googleフォームにて受付（QRコードまたはURLから）
 <URL : <https://forms.gle/4v6Wtjs43B3Bts1v7>>
 参加申込締切：令和7年9月5日（金）※定員に達し次第締め切り

【主催】沖縄県 土木建築部 技術・建設業課
 【参加申込・お問合せ先】一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所
 TEL: (098) 879-2001 FAX: (098) 874-5301 メール: vision2025@shimataste.or.jp
 ※電話対応：10:00～18:00（12時～13時を除く）

「北九州ゆめみらいワーク」に建設業PRブースを出展

- 目的：中学生や高校生等を対象に、市内建設業の仕事内容等について直接聞き、体験することで建設業と地元企業の魅力を伝え、若者の職業観を醸成し、将来の地元建設業への就職につなげるもの
- 日時：令和7年12月11日(水)・12日(木) 9:30~16:00
- 会場：北九州メッセ
 ※来場者数：13,845人(建設業PRブース来場者数:約2,000人)

建設業PRブース「明日の北九州市を支える建設業」

- ◆ 協力団体：北九州GIS測量協会、北九州市建設コンサルタント協会、北九州市建設業協会、北九州港湾建設協会

■ 測量ブース

- ・測量器具体験
- ・測量文化資料の展示 など

■ 設計ブース

- ・ヒューム管の展示
- ・管路更正方法の紹介など

■ 工事ブース

- ・消波ブロックキャンドル作成
- ・釘打ち体験 など



測量器具体験



ヒューム管の展示



消波ブロックキャンドル作成



釘打ち体験

ウェブサイト「ケンセツ男子・ケンセツ女子」でPR

建設業の仕事で活躍するカッコイイ若者
 「ケンセツ男子・ケンセツ女子」を紹介！

まちをつくる。
 暮らしをつくる。
 みらいをつくる。



『ケンセツ男子・ケンセツ女子』とは？

世界遺産に登録された官営八幡製鐵所の創業以来、「ものづくりの街」として、日本産業の近代化と高度経済成長の礎を築いてきた北九州市。本市には、ものづくりの歴史の中で、脈々と受け継がれた技術や職人を有する建設業者が数多く存在します。こうした建設業の現場でイキイキと働く若者・女性たちの姿を専用サイトで紹介しています。

※ 現在69名のケンセツ男子・ケンセツ女子を掲載中!!

『ケンセツ男子・ケンセツ女子』サイトはこちら

URL : <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/kensetsu-danshi-jyoshi/>

「ケンセツ男子」「ケンセツ女子」いずれかで検索



■ 問合せ先／北九州市 技術監理局 技術企画課 093-582-2043

学・官・産 合同で現場研修会を開催

- 対象：福岡県立 八幡工業高等学校 土木科(1年生)
- 日時：令和7年9月16日(火) 12:35～14:30
- 会場：八幡工業高等学校 会議室、工事現場(市発注工事)
- 主催：北九州港湾建設協会
(後援:北九州市/協力:福岡県立 八幡工業高等学校)

■ 学生リポーターによる現場リモートパトロール

- ・工事現場の状況や現場で働く技術者を生徒が直接取材し、リモートによる学校との生中継によって、学校にいる生徒もリアルタイムで現場を体験。



地元建設業団体と連携した現場見学会を実施

- 対象：福岡県立 八幡工業高等学校 土木科(2年生)
- 日時：令和8年1月27日(火) 9:00～12:30
- 見学先：若戸大橋(吊橋部)橋梁補修工事(6-2)
- 主催：(一社)北九州市建設業協会
(後援:北九州市/協力:福岡県立 八幡工業高等学校)

■ 若戸大橋橋梁補修工事の見学

- ・北九州市のシンボルであり、国の重要文化財でもある「若戸大橋」の長寿命化対策工事の現場を生徒が見学。



建設業の魅力発信の取組み状況

福岡市

技術体験イベント「みらい建設フェスタ」の開催

道路、河川、下水道などの都市インフラの役割や建設業の魅力を伝えることを目的に、子どもたちを対象とした、見て・触れて・楽しめる技術体験イベント「みらい建設フェスタ」を開催。（来場者数：二日間累計 約14,600人）

「みらい建設フェスタ」前回の様子



「みらい建設フェスタ」前回の様子



現場見学会の実施

- 県内の高校等の学校と連携し、工事現場の見学会を実施



ポスター型カレンダーの配布



SNSの活用

- Instagram、Facebookを活用した情報発信



建設業の魅力発信の取組

熊本市

現場見学ツアー



SNSの活用



出前講座



- ・出前講座の実施
- ・現場見学ツアーの実施
- ・SNSの活用

【継続】建設業の魅力発信の取り組み

【概要】

- 令和7年度は沖縄県内の各関係機関及び業界団体と協力を図りながら、女子中学生、工業高校生向けの現場見学会・体験会等や業界団体のイベント開催への支援等の実施。

〈女子中学生体験会〉



〈工業高校生現場見学会〉



#夏休み特別企画!
沖縄県建設業協会 女性部会 × 沖縄総合事務局

夏のリコチャレ2025

ミライをつくる建設女子のしごと体験ツアー

8.1 FRI(金) 2025年8月8日(金)
※祝天時の予備日

※見学会の予備日
2025年8月9日(土)

見学会場所: 那覇新港ふ頭地区

沖縄県内の女子中学生とその保護者に対し、女性建設者が担う建設現場の仕事紹介を行い、職業選択のきっかけづくりや、建設現場の安全意識の向上を図ります。また、建設現場での作業体験を通じて、建設現場の魅力を伝えるとともに、建設現場での安全意識の向上を図ります。

集合・解散: 沖縄総合事務局 (1階) 集合場所は2丁目1番1号 車庫前2階の窓ガラスの横
解散場所は、DX会場で 大型バスにて現場へ移動

募集対象: 沖縄県内の建設業と保護者(保護者の性別は不問) 申込みはこちら

定員: 30名 (15名) ※女子学生(小学校6年生、中学生、高校生1年生)

服装: 運動靴、多少汚れても良い服装(スカートNG)

イベントタイムスケジュール

13:00	集合開始、受付
13:15	手帳型文化体験館による建設現場のリアルプロジェクト-DX紹介
13:30	インフラDX-入場券
14:15	建設バス乗車後、上原建設へ移動
14:45	工事着し直し 現場の経験者が、1対1で説明と紹介 現場での作業体験 建設現場の仕事体験 安全意識の向上
16:30	集合写真撮影、挨拶
17:00	解散

※詳細は、イベントタイムスケジュールを、参加者全員にお渡しする予定です。

リコチャレ
RICOCHALLENGE SUMMER OF 2025

第7回 おまなわ 建設フェスタ

建設現場の魅力を広く紹介し、体験会イベント盛りだくさん!

ミニドローン 飛行体験
電子木工教室
草花 寄せ植え 体験
建設現場 体験ツアー
建設現場 体験ツアー

2025年11月9日 無料
沖縄県総合運動公園(体育館・北口駐車場)

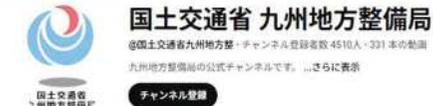
朝10時～夕方4時

状況により変更がございますので
最新情報は、当日に各設営ボードからご確認ください。

おきなわ建設フェスタ実行委員会 株式会社沖縄建設新聞

■ SNSを活用した魅力発信の取組

＜本局や各事務所において「X」「Facebook」「Instagram」「Youtube」を用い様々な情報を発信＞



SNS総フォロワー数 約 **90,000** 人

- ・ X : 約 75,500人
- ・ Facebook : 約 6,000人
- ・ Instagram : 約 3,900人
- ・ Youtube : 約 4,600人

■ 小学生を対象に重機乗車体験やドローン操作体験等を実施

＜延岡河川国道事務所が「土木の仕事に興味を持ってもらいたい」という思いで現場見学会を実施＞



■ パトロール車の乗車体験やTEC服を着用した写真撮影等を実施

＜川内川河川事務所が土木・建築フェスタで未来を担う子どもたち向けに出席＞

浸水ドア・降雨体験機



クラフトペーパー



TEC服を着用し車両と記念撮影



河川模型を用いた効果説明



■ 災害対応協力業者の取組状況をHPで発信

＜災害発生時の応急対応、復旧作業を実施した災害対応協力業者の取り組み状況を発信＞



災害対応協力業者の取組状況(一例)



▲施工業者



▲設計・調査業者